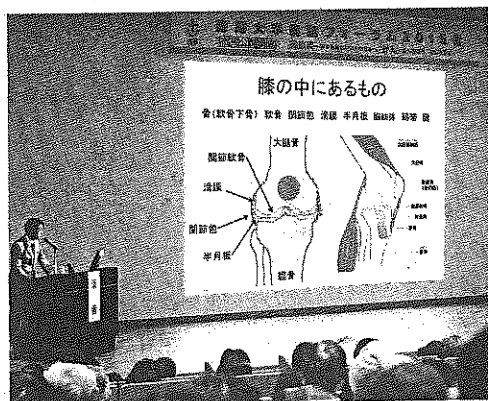


# 関節痛・がん予防学ぶ

徳島市

徳大病院  
フォーラム 専門医講演に650人



徳島大学病院フォーラム＝同大大塚講堂  
関節痛とがんについての講演があった

関節痛やがんについて学ぶ市民公開講座「徳島大学病院フォーラム2015春」(同大病院主催、徳島新聞社共催)が14日、同大蔵本キャンパスの大塚講堂であり、約650人が専門医の話に耳を傾けた。

同大病院整形外科の浜田大輔外来医長は、膝の関節の軟骨がすり減って痛みや炎症が生じる変形性関節症について解説。「主要な原因は加齢と肥満。ウオーキングなどで減量する

ることが一番の予防策となる」と話した。

消化器内科の谷口達哉病棟医長は「肝がんの約8割はB型、C型肝炎から発症している」とし、肝硬変など重症化するほどリスクが高まると説明した。

肝炎ウイルスに効果的な経口薬を紹介し、「早めの処置が重要。一生に一度は肝炎検査を受けてほしい」と呼び掛けた。

関節リウマチや大腸がんの最新治療の講演もあった。

(笠井理)

◇ 3月8日付朝刊に詳細を掲載します。